

新入生、編入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、新入生・編入生のご家族・関係者の皆様に対しましても、心からのお祝いを申し上げます。本日ここに、2017年度広島国際大学入学宣誓式を挙げてきますこと、誠に慶賀に存じます。皆さんを本学に迎えることができ、私共にとってこれに勝る喜びはありません。

「将来像 ともにしあわせになる学び舎」

皆さんが入学した広島国際大学は、1998年に「保健・医療と福祉を軸に世界平和を創造する大学」という理念のもとに開学し、「広島国際大学はあたらしいしあわせの創造を目指しています」として、学生募集を始めました。そして、来年に開学20周年を迎える若い大学ですが、本学を設置している常翔学園は95年の長い歴史を持つ学校法人です。広島国際大学では、本学の開学20周年の前に、常翔学園の創立100周年に向けて、大学の将来像を、「ともにしあわせになる学び舎」と決めました。「誰もが健やかで安心できる社会を実現する」ことを使命とし、「健康・医療・福祉の分野で活躍する専門職業人を育成」することで、「ともにしあわせになる学び舎」を目指します。この「ともにしあわせになる学び舎」という将来像には、大きく2つの想いを込めております。一つ目は、「本学の卒業生がそれぞれの専門分野で活躍し、周りの人も巻き込んでしあわせになってほしい」ということです。二つ目は、「皆さん在校生を初めとして、卒業生、教職員、さらには地域の方など、様々な人が本学で交流・連携をし、その交流・連携を通して学んでもらいたい、しあわせになってもらいたい」というものです。そのために、本学では交流と連携をキーワードにさまざまな改革に取り組んでいます。ここで、交流と連携をキーワードとしている理由の一つをお話しましょう。

「3つのスキル」

ハーバード大学のロバート・キャッツ先生は、社会で必要とされる能力として、テクニカルスキル、ヒューマンスキル、コンセプチュアルスキルの3つをあげておられます。テクニカルスキルは、その職業に必要とされる知識や技能で、例えば、数学や英語といった、これまで皆さんが勉強してきた科目や、国家試験などの資格試験に向けての勉強で得た知識・技術が含まれます。ヒューマンスキルには、組織をまとめる能力や、コミュニケーション能力などが含まれます。コンセプチュアルスキルは少し言葉が難しいですが、コンセプトという単語を想像してもらえばわかりやすいと思います。企画をしたり、組織の将来像をまとめたりする能力が含まれます。いわゆるリーダーシップというのは、ヒューマンスキルやコンセプチュアルスキルの部分になります。この3つの能力のうち、交流や連携で高めることができるのが、ヒューマンスキルと、コンセプチュアルスキルです。もう少し、詳しく説明しましょう。この3つの能力ですが、一般職員、管理職、経営層と役職があ

がるにつれて、必要とされる能力・スキルの比率が変わります。一般職員、特に若い職員に必要とされるのは、ヒューマンスキルとテクニカルスキルで、コンセプチュアルスキルはそれほど要求されません。しかし、役職が上がるにつれて、必要とされるテクニカルスキルの割合が減少し、コンセプチュアルスキルの割合が増加していきます。

「身につけてほしいスキル」

ただ、注目すべきは、ヒューマンスキルの部分で、一般職員でも、経営層でも、同じ位の割合であるという点です。テクニカルスキルについては、コツコツ勉強すればたいてい何とかできますし、就職してから学ぶ事の方がずっと多いものです。又、人工知能やロボットの台頭により、それらに置き換わっていく部分でもあります。一方、ヒューマンスキルは、社会に出てから鍛えようとしても、なかなかできるものではありません。ですから、企業や病院などは、職員採用の際に、ヒューマンスキルの部分を重視します。大学の成績がいくら良くても、ヒューマンスキルが不十分であれば、なかなか希望通りには就職できません。また、本学の卒業生には、組織や、地域などでリーダーシップを発揮して、リーダーになってもらいたいと思いますが、そのためにはヒューマンスキルと共に、コンセプチュアルスキルも必要になります。従って、みなさんには、筆記試験や資格試験でいい点がとれるようなテクニカルスキルの部分も頑張ってもらわないといけません。社会で活躍するためには、同じ位にヒューマンスキルとコンセプチュアルスキル、特にヒューマンスキルの向上を図ってもらわないといけません。そのヒューマンスキルやコンセプチュアルスキルの向上に必要なのが、様々な人との交流や、さまざまな人と連携して活動する経験です。皆さんは、本学の教育の特色に、充実したチーム医療やチームケアを行うための専門職連携教育があるのをご存じでしょう。この専門職連携教育ですが、この教育は単にチーム医療やチームケアを行うための教育ではありません。いろいろな学科の学生さんと議論をしていき、チームとしての結論をだしていく過程で、ヒューマンスキルや、コンセプチュアルスキルが向上します。つまり、どんな施設や企業へ就職しても、また、どんな立場になっても、必要とされる能力の向上を図っていく教育です。是非、積極的に参加して欲しいと思います。

「いろいろなことにチャレンジを」

本学には、専門職連携教育のような正課の授業以外にも、学生さんの活動に資金援助をする仕組みであるチャレンジプロジェクトを初めとして、多くの交流や連携の機会があります。スポーツ大会、ボランティア活動、課外活動、海外研修などに、積極的に参加し、様々な人と交流・連携して、ヒューマンスキル、コンセプチュアルスキルの向上を図ってください。いろいろなことに挑戦し、失敗する経験も重要です。これらの活動・経験が、皆さんの学生生活を充実したものとし、皆さんの成長へとつながります。本学が関係する健康・医療・福祉の分野の日本における最も大きな課題は、超高齢社会、少子高齢化です。このような時代に、誰もが元気で長生きでき、しあわせになってもらうには、皆さんの力が必要です。繰り返しになりますが、しっかりと勉強してテクニカルスキルを向上させるとともに、さまざまな活動を通してヒューマンスキル、コンセプチュアルスキルも向上させ、社会に貢献できる人になりましょう。皆さんなら、なれます。

「開学20周年としあわせ」

前述のように本学は来年、開学20周年を迎えます。そこで、今年から3年間、開学20周年記念事業を展開していきます。その主な事業として、交流・連携をキーワードとした教育改革およびキャンパス整備を進めます。キャンパス整備では、東広島キャンパス、呉キャンパスともに正門から建物間のスペースの整備、東広島キャンパスのグラウンド整備、呉キャンパスの校舎建て替えなどを計画しています。皆さんが在学中に整備されますので、期待してください。また、本日は、ご列席頂いたご家族・関係者の方々に、新入生の皆さんの成長と、関係各位の皆さんのしあわせを祈念して開学20周年記念ロゴの入った「四つ葉のクローバーの種」をお配りしております。成長した四つ葉のクローバーを観て、しあわせな気分になって頂けたらと思います。

最後になりますが、皆さんが一步一步成長していかれる姿を見るのを楽しみにしていることをお伝えして、式辞といたします。